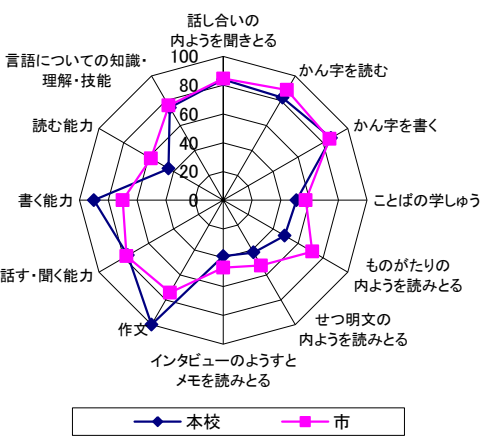


宇都宮市立上河内東小学校 第3学年【国語】問題の内容別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
問題の内容別	話し合いの円ようを聞きとる	84.0	84.6
	かん字を読む	82.4	88.6
	かん字を書く	86.6	85.4
	ことばの学しゅう	50.9	57.3
	ものがたりの円ようを読みとる	49.4	71.5
	せつ明文の円ようを読みとる	42.0	52.5
	インタビューのようすとメモを読みとる	38.9	46.8
	作文	100.0	74.2
観点別	話す・聞く能力	76.7	77.8
	書く能力	90.0	69.9
	読む能力	44.0	58.2
	言語についての知識・理解・技能	74.4	76.0



★指導の工夫と改善

問題の内容	本年度の状況	今後の指導の重点
話し合いの円ようを聞きとる	・平均正答率は、市の平均とほぼ同じである。 ・大事なことを落とさないように聞き取ることは、1問目は全員正答できたが、2問目は市の平均を下回った。話題に沿った意見と理由を考えて話すことは、市よりやや下回った。	・大事なことを落とさないように聞き取ることができるようにするために、話す・聞く単元において、相手の意図を整理する聞き取りメモを記入する活動を取り入れる。話題に沿った意見と理由を考えて話すことができるようにするために、話の内容や順序を明確にする発表メモを作成する活動を取り入れる。どちらの活動においても、お互いのメモを確かめ合いながら、自己評価を通して振り返りを行うようにする。
かん字	・平均正答率は、読むでは市の平均を下回り、書くでは市の平均を上回った。 ・3年生の漢字の読みはおおむねできていたが、2年生の漢字の読みができていなかった。2年生の漢字の書きでは、おおむねできているが、「汽車」が書けない児童がやや多かった。	・漢字の書き取りについては、新出漢字の指導を十分行うとともに、前学年で学習した既習漢字についても、家庭学習など通して復習する機会を作るようにする。また、習った漢字は、普段から使えるように書く活動において、繰り返し指導することで定着を図っていく。
ことばの学しゅう	・平均正答率は、市の平均を下回っている。 ・ローマ字の読みはおおむねできているが、漢字の部首や国語辞典の使い方についての理解ができていなかった。	・漢字の部首については、漢字練習のときにへんやつくりを意識して練習させるようにしていく。 ・国語辞典の使い方については、物語文や説明文において意味調べの活動を取り入れ、言葉の並び方の理解や適切な意味の選択の力を付けていく。
ものがたりの円ようを読みとる	・平均正答率は、市の平均を下回っている。 ・登場人物の気持ちを読み取ること、場面の様子を読み取ることができていなかった。	・登場人物の気持ちや場面の様子を読み取ることができるように、普段から音読を多くさせ、気持ちや様子を表すキーワードに線を引くという活動を繰り返し行う。そして、学習シートを活用して読み取った内容を整理したりして確実に理解させるようにしたい。
せつ明文の円ようを読みとる	・平均正答率は、市の平均を下回っている。 ・目的や必要に応じて、文章の内容を読み取ることができなかった。	・文と文、段落と段落のつながりが明確になるように、矢印や囲み線で視覚的に表したり、それぞれの関係を図に整理したりすることで理解させるようにする。文章全体の内容の理解については、題名や繰り返し出てくる言葉、キーワードをもとに段落や文章全体を要約する学習を積み重ねる。
インタビューのようすとメモを読みとる	・平均正答率は、市の平均を下回っている。 ・与えられた情報を正しく読み取り、必要な事柄を補って記述すること、読み取った情報の共通点や相違点をとらえて整理することができなかった。	・資料に書かれている要点やキーワードを見つけさせながら、どんなことが書かれているのか意識させるために、文章に印をつけるなどして読み進めるように指導し、資料を読み取れるようにしていきたい。
作文	・平均正答率は、市の平均を上回っている。 ・指定された長さで文章を書くこと、二段落構成で文章を書くこと、経験・想像したことの中から書くことを決め、文章を書くこと、自分の考えが明確になるように、必要な事柄や理由を書くことの全ての観点で全員ができた。	・普段から、全員共通の話題で文章を書く学習を取り入れていたので、段落の構成や理由の書き方などのスキルを身に付けることができた。今後も、作文指導や日記指導、スピーチメモの指導などで、継続していく。